



千葉大学ユニオンニュース 第70号 2012年8月31日

編集・発行：千葉大学ユニオン 事務局：西千葉キャンパス総合校舎G号館401室 メール：cuu@e-mail.jp  
電話・FAX：043-290-2234 FAX専用：020-4666-6229 HP：http://www.age.cc/~cuu/（過去のニュースもご覧になれます）  
☆職場でお困りのこと、お気づきのこと、ご質問・ご意見をお寄せください。

### 給与引き下げをめぐる12の疑問：Q&A

ユニオンは、新執行部が発足した6月以降、給与の引き下げに反対し、団体交渉を行ってきました。しかしながら、法人側は、8/1から給与の引き下げに踏み切りました。この間、ユニオンには、給与引き下げをめぐる、多くの疑問が寄せられてきました。そこで、これらをQ&A方式で取り上げながら、寄せられた疑問について考えてみたいと思います。

**Q1. 今回の給与削減は、運営費交付金が減額されたからか？**

A1. 違う。そもそも、各国立大に交付される運営費交付金が臨時給与特例法に則して減額されたという事実は存在しない。もっとも、今後減額される可能性は高いようだが、その時期や減額方法は、法人側も分かっていないようだ（ニュース第69号を参照）。

**Q2. うちの部局長から「運営費交付金が減額されたので、給与が削減される」というような説明を聞いたのだが・・・？**

A2. そうだとしたら、おそらく、その部局長もよくわかっていないのだろう。今回の給与削減をめぐる法人側の説明不足・コミュニケーション不足は明らかだ。ユニオンとしては、事の重大さから、全学的な説明会を行うよう要望してきたが、無視された格好だ。

**Q3. 運営費交付金が減額されたわけではないのならば、給与を削減される必要性があるとは思えない。いったいなぜ、我々は給与を削減されるのか？**

A3. 一言で言うと「政府の要請」なるものだそうだ。

**Q4. 具体的には？**

A4. たとえば3月に、文部科学省の大臣官房長が、国立大学の学長に対して、「国家公務員の給与見直しの動向を見つつ、役職員の給与について必要な措置を講ずるよう要請」している。また5月には岡田副総理や安住財務大臣が、人件費を見直すよう発言している。さらに文科省は、人件費見直し状況の調査を各国立大学にかけているが、これが民主党・行政調査会から発せられているようだ。

なお、これらの要請の内容については、既に過半数代表またはその代議員からメールで送られてきている「臨時特例法に関する説明会資料 24.6.13」に記載されている。

**Q5. そのような一連の要請なるものに、根拠はあるのか？**

A5. 昨年の閣議決定で、「独立行政法人の役職員の給与については、法人の業務や運営のあり方等その性格に鑑み、法人の自律的・自主的な労使関係の中で、国家公務員の給与見

直しの動向を見つつ、必要な措置を講ずるよう要請する」となっている（平成23年6月3日）のは事実だ。ただ、これが根拠とまで言えるかどうかは疑問だ。

**Q6. 運営費交付金が減額されたならばともかく、まだ減額もされていないのに、なぜ早々と給与が削減されるのか？**

A6. 法人側によると、運営費交付金が減額されてから給与を削減しようとする、削減率が非常に大きくなる可能性があり、それを避けるためだそうだ。ただ法人側は、経営上のリスクを最大に見積もっているとも述べてきており、結果として削減しすぎだった場合にはもともと教職員の給与なので返す、とも言っている。

**Q7. 運営費交付金には、人件費としての枠組みがあるのか？ ないのなら、大学運営に必要な物件費、光熱費、教育研究費、その他などをうまく節約してその分を人件費に回すことで、なるべく給与を減らさないように出来ないものか？**

A7. 運営費交付金には、人件費としての枠組みはない。つまり基本的には、各大学で自由に使えるので、他の費用をうまく節約してしのぐという手法は、可能である。ところが千葉大はそのように対応するのではなく、「人件費を削減せよ」という政府の要請にとにかく従ったというわけだ。

**Q8. 他大学では、政府の要請を「唯々諾々と受入れるのではなく」、独自に削減率を圧縮した大学があると聞いた。また、まだ給与を削減すらしていない大学もあるそうだが・・・？**

A8. その通りで、削減率を圧縮した大学は、広く確認されている。ユニオンも、国の削減率をそのまま適用するのではなく、経営努力で削減率を圧縮するよう訴えたが、覆らなかつた（ニュース第69号を参照）。ちなみに京大の削減率は、教授が4.35%、准教授は2.5%で、国の削減率を大幅に圧縮している。その理由は「優秀な研究者の確保」だそうだ。おそらく千葉大からは今後、優秀な研究者が続々と逃げ出すことだろう。

また、給与を削減していない大学は徐々に減ってきてはいるものの、北大などは8月になってもまだ削減していないそう

だ。さらに仄聞するところによると、山梨大学ではトップが「他大学がすべて給与を削減して、うちが最後の残る1大学になっても、削減しない」と宣言しているようだ。

**Q9. それは驚いた。なぜ山梨大学は、そこまで強い姿勢で政府の要請を拒絶し続けられるのか？**

A9. 山梨大学の教職員ではないのでよくわからない。ただ教職員の間では、「うちのトップは腹が据わっている」という評判だそうだ。

**Q10. 附属病院の看護師等が、最初から給与削減の対象外だったのは、なぜなのか？**

A10. 附属病院では「7対1看護」（患者7名に対して看護師1名という看護体制のこと）を実施している。そしてこのように手厚い看護体制の病院に対しては、医療保険から病院に支払われる報酬が上積みされる制度設計になっている。こうしたなかで、看護師等の給与を削減すると、給与減を嫌う看護師等が大量に退職して7対1看護が崩れ、病院収入が減少してしまう可能性がある。そこで今回は、附属病院の看護師等は給与削減の対象外とした、というのが法人側の説明だった。なお、ユニオンが調べたところ、全国の多くの国立大学で同様の措置が取られているようだ。

**Q11. 今回の給与の削減は、東日本大震災の復興財源になると言われているが、削減された金額が国庫に返還されるのか？また、過去には給与削減で浮いたお金が学内で別の用途に使われているが、本当に復興財源になるのか？**

A11. 鋭い質問だ。まず返還云々についてだが、法人側は、団体交渉の場で「どうやって運営費交付金が減額されるのかわからない」と述べていた（ニュース第69号を参照）。文科省が説明してくれていないようだ。ただ財務大臣は「次の予算編成で」と発言としているので、早ければ平成24年度の補正予算で減額されることを法人側は想定している、という。

いずれにしても、「給与が大きく削減されたが、じつは運営費交付金は減額されなかったので、その分のお金が学内で別の用途に流用された」ということの絶対にならないよう、ユニオンは監視を強めていく。

**Q12. 復興予算のかなりが未消化（執行されていない）という新聞報道を見たのだが、削減された給与は、本当に復興支援に使われるのだろうか？**

A12. これももともと疑問で、使われない可能性はかなりあるのではないかと。そうすると今回の給与削減とは、結局のところ復興支援ではなく、復興支援に名を借りた行政改革・公的セクター叩きだった、ということになるだろう。「消費増税法案の成立に向けて、行政改革の『実績』が必要だったので

ないか」という穿った見方もある。

そもそも、かりに復興に使われるとしても、「復興支援」は＝「被災地支援」では必ずしもない。たとえば、被災地では瓦礫処理のために各地にゴミ焼却炉が新設されているが、これらを受注するメーカーは東京の大企業ばかり。つまり、カネが被災地に落ちるとは限らない。同様のことは、各種の復旧工事にも言える。

さらに、公的セクターの給与を削減すれば、消費が停滞して景気が悪化し、政府が掲げるデフレ脱却も遠のくわけで、政府の今回の対応は支離滅裂と言えるのではないかと。

**新入教職員歓迎・交流会が開催されました**

7月10日に生協食堂において、新入教職員歓迎・交流会が開催されました。参加者は新入教職員11名を含む33名で、去年に続き齊藤学長もお見えになり、挨拶をいただきました。今回の歓迎会では、教育学部の吉岡伸彦先生に「スポーツを見る目～バイオメカニクスの視点～」という講演をしていただきました。審判やコーチがどのような視点でフィギュアスケートの演技をみているか、様々な視点から解説していただきました。参加者からのたくさんの質問に、吉岡先生が経験談を交えて答えていただき、たいへん盛り上がりました。



**第9期 委員長挨拶**

このたび、第9期の委員長を仰せつかりました、理学研究科の亀尾です。新執行部が立ち上がって早々、特例法に基づく給与削減問題に対応することになり、その大変さと自らの力不足を痛感している次第です。給与削減問題に関しては、結果としてさしたる成果も上げられず、誠に申し訳ない限りです。この先も、さらに我々を直撃するような難問に直面することが予想され、気が重くなりますが、少しでも勤務条件を維持・改善できるよう努力して参りたいと思います。なにとぞご協力・ご支援を賜りますよう、心からお願いいたします。

第9期委員長 亀尾浩司

加入申込書 電話・ファックス:043-290-2234  
千葉大学ユニオン委員長 亀尾浩司 殿  
千葉大学ユニオン規約を承認し、千葉大学ユニオンに加入します。 2012年 月 日  
ご氏名：  
ご所属：